

アビリンピック熊本大会 2025 令和 7 年度熊本県障がい者技能競技大会

DTP 部門 競技課題

課題設定趣旨

印刷物はもともと印刷作業における専門知識と技術をベースに、専門の機器を使いこなすことで制作していましたが、DTP（Desktop Publishing：デスクトップパブリッシング）の普及により、制作者にはプランニングする力やクリエイション、色彩やレイアウト、フォントの印刷、印刷特性等、オールマイティな技術が必要とされています。

このような観点から DTP における基本的な知識・技術とともに、企画力や想像力に主なポイントを置いた課題設定のもと、作品制作における一連の技能を審査における基準とします。

■DTP 競技課題について

次の課題内容に及び条件に従い、また、あわせて与えられた課題データ（ドキュメント内に「熊本県障がい者技能競技大会 DTP 部門」というフォルダが用意してあります）を使用し、準備された DTP のシステムにより作品を制作してください。

■競技時間

3 時間（最終作品のプリント出力は競技時間に含みません）

競技開始前に PC の動作確認を 10 分程度実施します、入力設定変更等は動作確認時に自身にて実施してください。

■課題

あなたはデザイン会社の制作スタッフとして、「アビリンピック熊本大会 2025 令和 7 年度熊本県障がい者技能競技大会」を PR するイベントの広告チラシデザインを作成することになりました。この広告チラシを見た人が、イベントに参加したい、来年度の大会に参加したい、あるいは大会を見に行きたいという衝動に駆られるような魅力ある作品を、下記のヒアリングを参考にし、かつ条件等に従って制作してください。指定のないところは各自工夫してアイデアに富んだデザインに仕上げてください。

●ヒアリング

クライアントである独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 熊本支部とデザイナーであるあなたとの間では以下のようなやり取りがありました。2人の会話から制作物のヒントとなるポイントを見出してください。

【ヒアリング内容】

デザイナー：さて、今回は「アビリンピック熊本大会 2025 令和 7 年度熊本県障がい者技能競技大会」の PR イベントに関する広告チラシデザインということですが、どのようにお作りいたしましょうか？

クライアント：そうですね。まず前提として、アビリンピックの趣旨は「障がいのある方が日ごろ培った技能を互いに競い合うことにより、その職業能力の向上を図るとともに、企業や社会一般の人々が障がい者雇用に対する理解と認識を深め、その雇用の促進を図る」ことです。これを踏まえた上で、具体的な話をしていきましょう。

デザイナー：はい。お願いいたします。

クライアント：といっても、なかなか一般の方にこのイベントが知られているわけではありませんので、今回はその PR としてマルシェ（フランス語で「市場」を意味する）のようなイベントを開催して、制作された商品の展示や販売、体験を通じてアビリンピックについての理解を深めてもらおうと考えています。

デザイナー：そういうことですね。どのような方に来ていただきたいとかイメージはお持ちですか？

クライアント：雇用促進の面から見て、選手として参加される若者はもちろん、雇用する企業の方にも大会を認知してもらう必要があります。できれば家族みんなで足を運んでいただきたいと思っています。

デザイナー：なるほど。幅広い年代層をターゲットにしているのですね。でしたら、あらゆる年代層にアピールできるような楽しいイメージにするのはいかがでしょう。まずは気軽に参加してもらい、そこからアビリンピックの認知度やイメージ向上につなげていきましょう。

クライアント：良いですね。それでお願いします。

デザイナー：かしこまりました。内容に関して、何か特別に掲載したいものはございますか？

クライアント：日時などの基本的なものの以外ですと、岡本太郎氏作成のアビリンピックシンボルマークとアビリンピックのロゴマーク、こちらを必ず使用するようお願いいたします。基本的な情報をまとめたテキストファイルと一緒にシンボルマークとロゴマークの画像ファイルも入れておりますので、そちらをお使いください。

できれば、イラストを使って親しみやすさを出していただきたいのですが、こちらでこんなイラストはどうか？というのを用意していますので、自由に配置して使ってください。もちろんすべて使わなくても結構です。

あと、次回以降に参加したいと思っていただけるようなアピールもしていきたいので、X（旧 Twitter）のアカウントも掲載していただけないでしょうか？

デザイナー：承知いたしました。ありがとうございます。

クライアント：あっ、お渡ししたデータの中に Illustrator で作った地図があったのですが、まだ制作途中の段

階でして……。完成し次第、改めて送らせていただきます。

デザイナー：地図ですか。少し見せてもらってもよろしいですか？（地図のファイルを確認）これなら未完のままで結構ですよ。デザインとの兼ね合いもありますし、こちらで続きを制作いたします。地図を作る際に参考にした資料などはございますか？

クライアント：開催場所の担当の方から頂いた画像データがありますので用意しますね。

デザイナー：はい。よろしくお願いいたします。

クライアント：こちらの要望は以上なのですが、ご質問などはありますか？

デザイナー：現段階では特にございません。では、以上の内容で広告チラシを作成いたします。完成したらまたご連絡を差し上げます。

クライアント：はい。楽しみにお待ちしております。

●条件

- 仕上げ寸法＝A4 サイズ（210mm×297mm）、方向は縦です。
- CMYK フルカラー、表面（片面）
- 作品にはトンボを配置してください。裁ち落としは3mmとします。
- 出力サイズはB4サイズとします。
- 制作に使用するコンピュータのOSはWindows11です。（変更の可能性があります）
- 制作に使用するソフトウェアのバージョンは次の通りです。
 - ・ Adobe Photoshop CC 2025（変更の可能性があります）
 - ・ Adobe Illustrator CC 2025（変更の可能性があります）
- 各ファイルの保存形式は問いませんが、入稿時のチェックができる形式で保存してください。

●支給材料

- カラープリンタ B4 用紙 3 枚（プリンタにセットされています）
- A4 サイズ下書き（ラフ）用紙 3 枚

●タイトル

「アビリンピック Marche in 熊本」

※テキストはアウトライン可

●画像

画像（ドキュメント内の「熊本県障がい者技能競技大会 DTP 部門」というフォルダの中に用意してあります）

- 岡本太郎氏作成のアビリンピックシンボルマークを規定の方法（緑色：DIC2562、黒または白抜き）で必ず使用してください。
- アビリンピックのロゴマーク（ファイル「新ロゴマーク.svg」）の色については、背景色を考慮した色で必ず使用してください。
- マスコットキャラクター「アビリス」については、最低 1 体は使用してください。その際、縦横比や色の変更は行わないでください。（表現のため不透明度を変更することは構いません）
- イラストの数や画像解像度に指定はありませんが、最低 1 点は使用し効果的に表現してください。

- X のロゴの使用は自由です。ただし、色などの変更はしないでください。視認性を考慮する場合は、背景色などを調整して配置してください。

●テキスト

大会当日まで非表示内容です。

●地図

(ドキュメント内の「熊本県障がい者技能競技大会 DTP 部門」というフォルダの中に用意してあります)

- 下の地図を参考に制作途中の地図を完成させ、作品内に効果的に配置してください。



- 道路・線路などをわかりやすく表示し、初めての方でも迷わず会場に到着できるような地図を作成してください。必要に応じて地図の一部を省略、あるいは追加してもかまいません。
- 課題中の地図と制作途中の地図の表示範囲は異なりますが、どちらの表示範囲に従っても構いません。

●テストプリント出力

- 作品制作途中の仕上がりを確認するために、2 回に限りテストができます。これらの出力を最終作品として提出しても構いません。
- テスト出力は行わなくても構いませんが、時間終了間際にはテスト出力ができない場合もあります。

●最終作品

- 仕上がった提出作品のデータは、デスクトップに保存してください。
- ファイルの名称は「競技者番号」と「名前」にしてください。

例) 競技者番号：1、名前：熊本太郎の場合→ファイル名：「1 熊本太郎」

●最終作品のプリント出力

- 最終作品のプリント出力は競技時間終了後に行います。出力の順番は指示がありますので専門委員の指示に従ってください。

- 出力した最終作品の裏面右下に、競技者番号と名前を記入してください。

●その他

- ターゲットを意識したデザインを作成してください。
- サムネイルやレイアウトを考えるうえで必要であれば、筆記具や電卓等の持ち込みは自由です。
- 競技会場には事前に配布された課題、メモ、参考書、その他の資料の持ち込みは一切できません。
- 競技を進行するうえで、障がいの程度によって必要とされる機材（専用のマウスおよびキーボード等）がある場合は、試験開始前に専門委員に申し出てください。